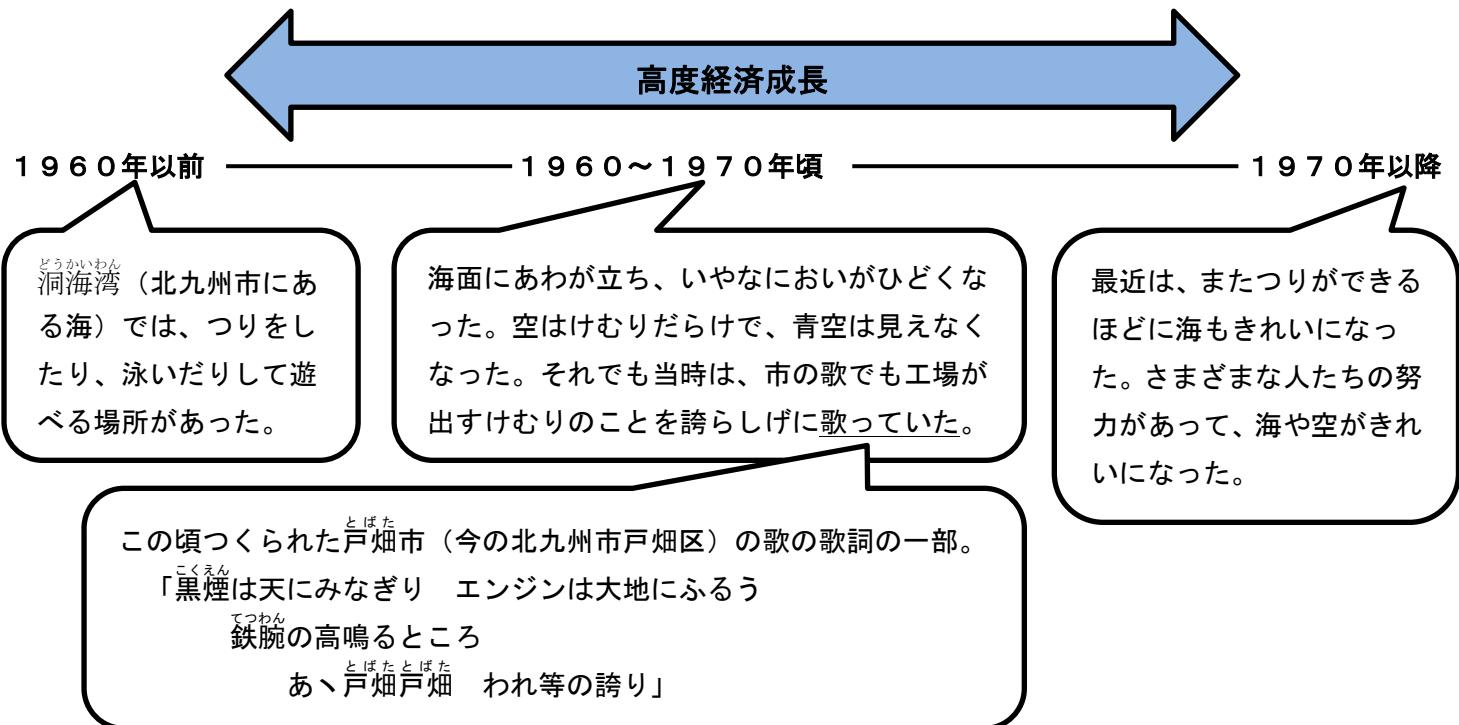


社会「生活環境を守る人々」A 名前()

□ 資料を読んで問題に答えましょう。(チャレンジ問題はできたらやってみよう。)

【資料1】「北九州市 洞海湾の変化と様子」



《問①》

1960年以前から1960~1970年頃の間では、北九州市の洞海湾は、どのような様子から、どう変化しましたか？

《問②》

1960~1970年頃から1970年以降の間では、北九州市の洞海湾は、どのような様子から、どう変化しましたか？

《★チャレンジ問題★》

高度経済成長（期）とは何か、辞書やパソコンで意味を調べてみよう。

社会「生活環境を守る人々」B

名前()

さて、様々な人々の努力で海や空がきれいになったとありますが、はたして北九州市の人々のどのような取組で海や空がきれいになったのでしょうか？次の問題も資料を使って答えを考えてみよう！

【資料1】年表 「北九州市の公害防止のあゆみ」

1950年	市民が、公害をなくす運動を始める
1963年	北九州市が、公害を防ぐ対策について話し合いを始める。
1965年	(※) ばいじんのふる量の日本一を記録する。
1967年	北九州市と工場の間、公害を防ぐための取り決めが初めて結ばれる
1970年	北九州市が、公害防止条例（公害を防ぐためのきまり）をつくる
1980年	北九州国際研修協会を作る
1987年	北九州市が、「星空の街」に選ばれる
1992年	北九州市が、地球サミットで表彰を受ける。北九州国際研修協会を改め、北九州国際技術協力協会をつくる
1997年	北九州エコタウン事業が始まる
2002年	環境ミュージアムが開館する
2011年	北九州市が、環境未来都市に選ばれる

※ ばいじん…工場のえんとつから出るけむりにふくまれて
いる、細かいちりやほこりのこと。

【資料2】公害をなくす運動に参加した市民

わたしたち女性のグループが中心となって、公害をなくす運動を始めました。公害のひがいを調べるために、白い布をほしてよごれ具合を観察したり、水を張ったバケツを外に出して、ばいじんのふる量を記録したりしました。



【資料3】市で働く人は・・・

- ・公害防止条例をつくりました。
- ・空気のよごれを観測するしせつをつくりました。
- ・国や工場とも協力をして、海のよごれをとりのぞく作業を行いました。



【資料4】工場で働く人は・・・

- ・ばいじんや有害な廃水を出さない機械やしせつを設けました。
- ・市との取り決めや条例を守り、公害を発生させない生産を目指しました。



《問①》

北九州市の人々のどのような努力と取り組みで海や空がきれいになったのでしょうか？

（この部分は手書き用のスペースです）

《問②》自然環境と豊かなくらしのどちらも大切に守るためにには、わたしたちはどのように気を付けていかなければならないでしょうか。この学習や今までの学習、自分の経験などを振り返り、自分の考えを書きましょう。

（この部分は手書き用のスペースです）